LG
Life's Good

取扱説明書

ワイヤレス サウンドバー

このたびはLG製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

モデル

SN7CY

2106_Rev05

www.lg.com

Copyright © 2020-2021 LG Electronics Inc.
All Rights Reserved.

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、商品を正しく安全にお使いいただき、また事故や危険を未然に防ぐためのものです。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合、 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、 人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

■ **図記号の意味**



禁止 禁止内容 （してはいけないこと） を表しています。



プラグを抜く ぬれ手禁止 注意内容 （気をつけること） を表しています。



指示 指示内容 （しなければならないこと） を表しています。

⚠ 警告 異常や故障のときは

- 本機を倒したり、 筐体が破損したときはすみやかに電源プラグを抜く。
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに当社カスタマーセンターにご相談ください。



プラグを抜く

- 故障や異常に気づいたら本機の電源を切り電源プラグを抜く。
  - 煙や異臭がする。
  - 画面が映らない、音が出ない。
  - 内部に液体や異物が入った。

  そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐ当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。



プラグを抜く

⚠ 注意 お手入れについて

- リモコン用の乾電池を正しく使用する。
  指定以外の乾電池は使用しない。
  極性表示[＋]と[－]を間違えない。
  充電・加熱・分解をしたり、ショートさせたりしない。
  表示されている「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や使い切った乾電池はリモコンに入れておかない。
  種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
  液漏れや破裂によって、やけどやけがの原因になる恐れがあります。



指示

⚠ 警告 電源について

- 電源コードを傷つけたり、 加工したり、 無理に曲げたり、 加熱したりしない。
火災や感電の原因になります。コードが破損した場合は、直ちに当社カスタマーセンターにコードの交換をご依頼ください。



- 電源プラグは根元までしっかりと差し込む。
電源コンセントに差し込んだ電源プラグが外れかけたまま使用された場合、火災や感電の原因となります。電源プラグを長い間差し込んだままお使いになる場合には、定期的にご確認ください。



⚠ 注意 電源について

- 電源コードを熱器具に近づけない。
電源コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となる場合があります。



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となる場合があります。



- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。
電源コードの損傷や断線により、火災や感電の原因となる場合があります。



- タコ足配線をしない。
火災や感電の原因となる場合があります。



- 本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源ボタンまたは電源スイッチを切っても、 電源は接続状態になっています。

⚠ 注意 電源について

- 接地 (アース) 接続は、 必ず電源プラグを電源につなぐ前に行う。また、 接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行う。
- 本製品付属の AC アダプタ以外を使用しないでください。 他の機器などの AC アダプタは絶対に使用しないでください。 異なる電圧や極性の AC アダプタを使用すると故障の原因になります。 付属以外の AC アダプタの使用による故障は保証の対象外になります。



⚠ 警告 設置について

- 屋外や浴室など、 水がかかるおそれのある場所や、 窓際など水滴の発生する場所に置かない。
火災や感電の原因となります。



- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
本機が倒れたり落下したりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。



- 振動のある場所に置かない。
振動で本機が動いたり、倒れたりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。



- 本機の近くに花びんや水の入った容器などを置かない。
水がこぼれて内部に入った場合、火災や感電の原因となります。



⚠ 警告 お手入れについて

電源コンセントに差し込んだ電源プラグの周りにゴミやほこりが付着している場合、乾いた布でふき取る。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
事故、火災防止のため、定期的に電源プラグを点検してください。



⚠注意 設置について

- 転倒・落下防止の処置をする。
地震などによる転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するため、転倒・落下防止の処置をしてください。



- 温度の高い場所に置かない。
直射日光のあたる場所、閉め切った自動車内、ストーブのそばなどに置かないでください。キャビネットの変形や故障による火災や感電の原因となる場合があります。



- 湿気やほこりの多い場所、 油煙の当たる場所に置かない。
調理器や加湿器などのそばやほこりの多い場所に置くと、火災や感電の原因となる場合があります。



- 電源プラグが容易に抜き差しできるように設置する。
本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。機器は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにしてください。



- 通気孔を塞がない。 製造者の指示に従って設置する。
キャビネットのスロットや開口部は通気のためにあり、製品の正常な作動と、過熱防止のために必要です。製品をベッド、ソファ、敷物などの上に置くことによって開口部を塞ぐことが決してないようにしてください。適切な換気が確保できるか、製造者による指示が貼付されている場合を除き、製品を本箱や棚に組み込んで設置してはいけません。

⚠警告 電源について

- 交流 100V 以外の電圧で使用しない。
火災や感電の原因となります。



- 電源コードに重いものを載せない。
火災や感電の原因となります。



⚠警告 ご使用について

- 包装に使用しているポリ袋は小さなお子様の手の届くところには置かない。
かぶったり飲み込んだりすると、窒息などの事故につながる恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。



- 内部に異物を入れない。
通風孔などから内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。特に小さいお子様が誤って異物を入れたりしないようご注意ください。



修理や改造、分解をしない。
内部には高電圧の部品が使用されており、触れると感電の原因となります。故障や点検は、必ず当社カスタマーセンターにご依頼ください。



- 雷が鳴り出したら電源コードやプラグに触れない。
感電の原因となります。



- 風通しの悪い場所に設置したり、密閉した箱などに入れたりしない。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁や他の機器と間隔を空けて設置してください。
仰向けや横倒しにして設置したり、また、布などをかけて使用することはおやめください。



⚠注意 ご使用について

- 本機に寄りかかったり乗ったりしない。
けがの原因となる場合があります。
とくに小さなお子様にはご注意ください。



- 旅行などで長期間使用しない場合は、 安全のため電源プラグを抜く。
万一の故障のときに火災の原因となる場合があります。



⚠注意 お手入れについて

- 乾電池を火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 乾電池は、極端な温度条件下で保管しないでください。



- お手入れのときは電源プラグを抜く。
感電の原因となる場合があります。



本製品はポータブル電源または蓄電池を装備しています。

リモコンの電池が切れたときは
リモコンから乾電池を取り外す際は、取付けの手順を逆に行ってください。乾電池、または電池パックの廃棄は、お住まいの地域の自治体の指示または規則に従って、正しく処分してください。電池を火の近くや直射日光の当たる場所、暖房器具や加湿器の近くなど高温・高湿の環境に置かないでください。

注意: 本機が水滴やはね水を受けないように、液体の入った花瓶などを本体の上に置かないでください。

注意: 製品識別および定格電圧を含む安全表示については、本機の下面にあるメインラベルを参照してください。

また、本機の近くで高電圧機器を使用しないでください。機器間の電圧の干渉により、本機が故障するおそれがあります。

本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

シンボル

~	交流（AC）を示しています。
⎓	直流（DC）を示しています。
⧈	クラスⅡの機器を示しています。
⏻	スタンバイを示しています。
I	「ON」（電源）を示しています。
⚡	危険な電圧を示しています。



モーションリモート用（Bluetooth）

この表示のある無線機器は、2.4 GHz帯を使用しています。

変調方式としてFH-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

＜本製品の使用上の注意事項＞

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、巻末の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、巻末に記載のカスタマーセンターにお問い合わせください。

オープンソースソフトウェアに関するお知らせ

この製品に含まれているGPL、LGPL、MPL、その他のオープンソースライセンスでのソースコードを取得するには、http://opensource.lge.comを参照してください。

ソースコードの他に全てのライセンス事項、保証の免責事項、著作権表示などをダウンロードできます。

opensource@lge.com宛てに電子メールで要求いただくと、配布に必要なコスト（メディア、出荷、取扱いにかかるコスト）を含む実費にて、LGエレクトロニクスよりCD-ROMでオープンソースコードを提供します。この提供は製品ご購入後3年間有効です。

目次

1 はじめに

3 安全にお使いいただくために
10 表示の説明
11 前面パネル
13 背面パネル
14 リモコン
17 スピーカーの位置
18 サウンドバーを設置する
19 壁に取り付ける

2 接続

21 ケーブルの整理（オプション）
21 ACアダプタの接続
22 テレビの接続
22 – オプティカルケーブルの使用
22 – LG Sound Sync
24 – HDMIケーブルの使用
24 – ARC（オーディオリターンチャンネル）機能
24 – SIMPLINKとは
25 – HDMIに関する追加情報
26 オプション機器の接続
26 – DOLBY ATMOS®
26 – DTS : X®
27 – HDMI IN接続
27 – OPTICAL IN接続
28 – USB接続
28 – 互換性のあるUSBデバイス
28 – USB機器の要件
29 – 再生可能なファイル

3 操作

30 基本的な操作
30 – USBデバイスの操作
31 その他の操作
31 – お使いのテレビのリモコンを使う
31 – サウンド出力
32 – オートパワーオン/オフ
33 – 入力ソース自動切り替え
33 クイックスタート
34 Bluetooth無線通信技術の使用
34 – Bluetoothについて
34 – Bluetoothのプロファイル
34 – Bluetoothデバイスの音楽の再生
36 – ペアリングされているBluetoothデバイスの操作
36 – Bluetooth接続ロック（BTロック）
36 BLUETOOTHアプリの使用
36 – BLUETOOTHデバイス上に「LG Sound Bar」アプリをインストールする
37 – 「LG Sound Bar」を用いてBLUETOOTHを有効にする

4 故障かなと思ったら

38 故障かなと思ったら
38 – 一般
39 – 無線を使用しているとき
40 – デモモードを解除するとき

5 その他

41 商標とライセンス
42 仕様
43 スピーカーの取り扱いについて

表示の説明

本マニュアルで使用される記号

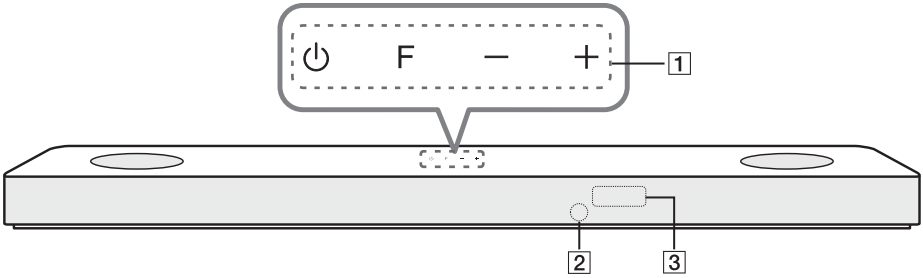
ヒント

操作する上でご注意いただくこと、操作のヒントを示します。

注意

取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

前面パネル



1

⏻（スタンバイ）
- 電源オン/オフの切り替えスイッチ。

F（機能）
- **F**ボタンを繰り返し押して、機能と入力ソースを選択します。

入力ソース/機能	表示
OPTICAL(光デジタル) HDMI ARC LG Sound Sync（有線）	OPT/HDMI ARC
Bluetooth	BT
LG Sound Sync（ワイヤレス）	LG TV
HDMI IN	HDMI
USB	USB

＋/－（音量）
- スピーカーの音量を調整します。

2 リモートセンサー

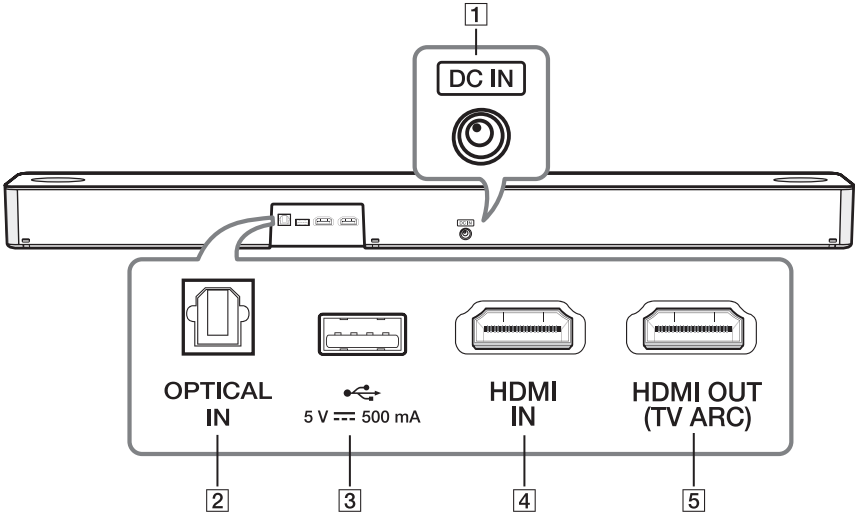
3 表示ウィンドウ
- 15秒間ボタンの入力がない場合、表示ウィンドウは自動的に暗くなります。
  いずれかのボタンを押すと、表示ウィンドウが明るくなります。

タッチボタンの使用上のご注意：

- 乾燥した清潔な手でタッチボタンを利用してください。
  - 湿度の高い環境では、使用する前にタッチボタンの水分をふき取ってください。
- タッチボタンは強く押さないでください。
  - 強い力で押すと、タッチボタンのセンサーが故障する恐れがあります。
- 機能を正しく作動させるために、使用したいボタンをタッチしてください。
- 金属など導電性のある物質がタッチボタンに触れないようにしてください。誤作動の原因となります。

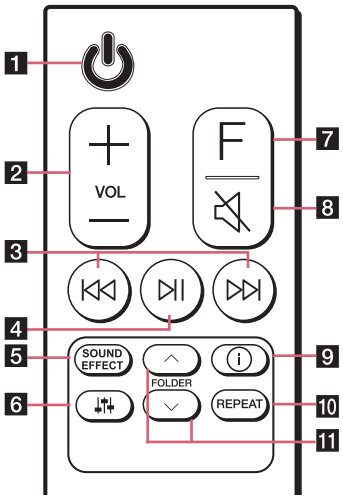
外部機器と接続せずに無信号状態が15分間続いた場合、消費電力を抑えるために自動で電源オフになります。

背面パネル



1	**DC IN** - ACアダプタに接続します。
2	**OPTICAL IN** - テレビの光デジタル(S/PDIF)端子と接続します。
3	USBポート - USBメモリ等のUSBデバイスを接続します。
4	**HDMI IN** - 外部デバイスのHDMI OUT端子に接続します。 外部機器をHDMI接続することによって音声と映像をお楽しみいただけます。
5	**HDMI OUT（TV ARC）** - テレビのARC端子を接続します。

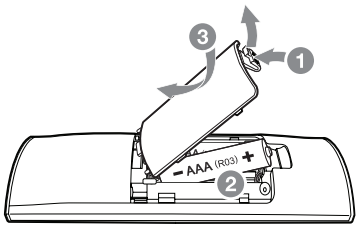
リモコン



電池の交換

リモコンの背面にある電池カバーを外し、⊕と⊖を正しく合わせて電池を入れてください。

電池を不適正なものに交換すると、火災や爆発の恐れがあります。



1	⏻（スタンバイ） - 電源のオン/オフを切り替えます。
2	**VOL**（音量）＋/－ - スピーカーの音量を調整します。
3	⏮/⏭（スキップ/検索） - 再生している音声ファイルの前のファイル⏮または次のファイル⏭にスキップします。 - 再生中に⏮または⏭を長押しすると、再生中のファイルを早戻し、早送りします。
4	⏯（再生/一時停止） - 音声ファイルの再生開始または一時停止します。 • **BT（Bluetooth）接続ロック：** Bluetoothの接続をLG製のテレビのみに制限します。（36ページ） ⏯を約3秒間長押しすると、スクロールするメッセージが表示されます。メッセージの表示中に⏯をもう一度押すと、**Bluetooth**接続ロックのオン/オフが切り替わります。

5

SOUND EFFECT

- **SOUND EFFECT**ボタンでサウンドエフェクトモードを選択します。

表示	説明
AI SOUND PRO	音声信号の特性を分析し、コンテンツに合わせて、自動的に適したサウンドを提供します。
BASS BLASTあるいはBASS BLAST+	低音を強調してパワフルなサウンドを実現します。
STANDARD	MERIDIANテクノロジーによる高品質なサウンドを提供します。
MOVIE	サラウンド効果による映画に適した臨場感あふれるサウンドを提供します。
MUSIC	音楽鑑賞に適したサウンドを提供します。

ⓘ 本機がDOLBY ATMOS または DTS : X の音源を検出した場合、**SOUND EFFECT** ボタンを押してもサウンド効果を変更することができません。その際は、表示ウィンドウに「NOT SUPPORTED (サポートされていません)」と表示されます。

• **テレビのリモコン：**他社製テレビのリモコンからでも、本機の音量を調節することができます。 （31ページ）
テレビのリモコン機能をオン/オフにするには、**SOUND EFFECT**ボタンを約3秒間長押しした後、もう一度押します。

ⓘ 対応テレビブランド

LG	Panasonic	Philips	Samsung	シャープ	ソニー	東芝	Vizio

6

（サウンドチューニング）

- 本機に搭載している各スピーカーの音量を調整します。
を押しして調整したい項目を選択し、**VOL ＋/ー**で音量を調整します。

表示	説明	範囲
C	センタースピーカー	-6 ~ 6
OVC	上部スピーカー	-6 ~ 6
TRE	トレブル(高音域)	-5 ~ 5
BAS	ベース(低音域)	-5 ~ 5

7

F（機能）

- **F**ボタンを複数回押すことで、機能と入力ソースを変更できます。

8

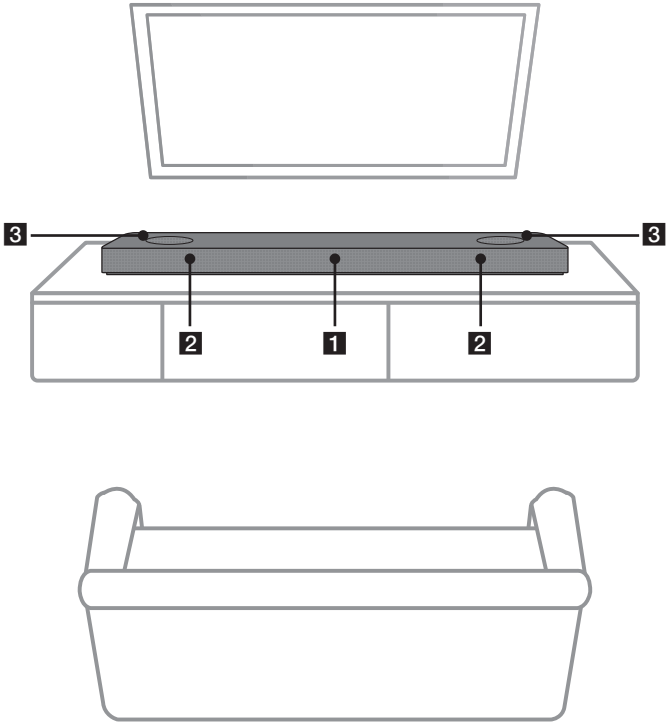
（ミュート）

- ボタンを押すとミュート(消音)されます。ミュートの状態でボタンを押すと解除されます。

9	ⓘ（情報）
	- 入力ソースの様々な情報を表示することができます。
	  - OPT（光デジタル）/ARC/HDMI（HDMI IN）：オーディオ形式
	  - BT（**Bluetooth**）：接続されている**Bluetooth**デバイス名
	  - USB：USBに保存されているファイル情報。
	• **AUTO POWERオン/オフ：**音声信号の有無によって本機の電源を自動的にオン、オフにできます。光デジタル、LGテレビ、または**Bluetooth**（32ページ）の入力信号によって自動的に本機をオン/オフにできます。
	オートパワーの機能のオン/オフを切り替えるには、ⓘボタンを約3秒間長押しした後、もう一度押します。

10	**REPEAT** - リピート再生とランダム再生を切り替えます。
11	**FOLDER ∧/∨** - USBデバイスのフォルダ内を検索します。

スピーカーの位置



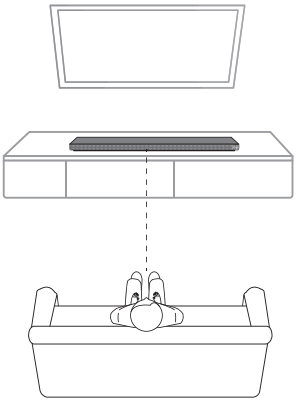
1	センタースピーカー
2	フロントスピーカー
3	トップスピーカー

サウンドバーを設置する

テレビ、ブルーレイディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの別の外部機器に本機を接続すると、音声を出力することができます。

本体をテレビの前に置いて、外部機器に接続します。（22～28ページ）

最高のサラウンドサウンドを得るために、以下のようにスピーカーを設置します。



ヒント

- テレビのリモコンセンサーの位置によっては、サウンドバーを近くに設置すると、テレビのリモコンが動作しづらくなる場合があります。その場合は、サウンドバーをテレビから10～15cm程度離した場所に設置してください。
- イラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

注意

- **Bluetooth**等のワイヤレス接続は本機の下部にあるモジュールで通信しています。ワイヤレス接続の性能を最良にするために、本機を金属製家具の上に設置しないでください。
- 取り付けまたは移動の際には、本装置の表面に傷を付けないように注意してください。

壁に取り付ける

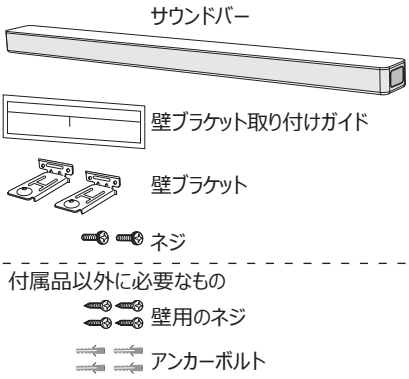
サウンドバーは壁に取り付けることができます。



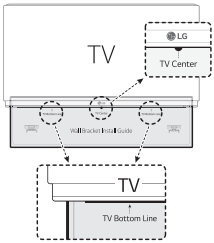
⚠ 注意

端子類はサウンドバー背面にあるため、壁に取り付け後にケーブルを接続するのは困難になります。ケーブル類は壁に取り付ける前に接続してください。

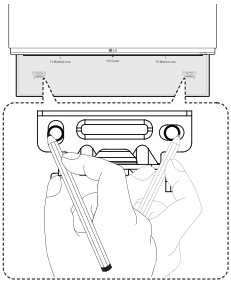
取り付けに必要なもの



1. 壁ブラケット取り付けガイドの「テレビ BOTTOM EDGE 」をテレビの底部に合わせ、その位置に取り付けます。

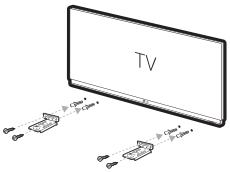


2. 壁（コンクリート）に取り付ける場合は、壁用プラグを使用してください。ドリルで数箇所穴を開けます。穴を開けるために、ガイドシート（壁ブラケット取り付けガイド）が同梱されています。シートを使用して穴を開ける場所を確認します。



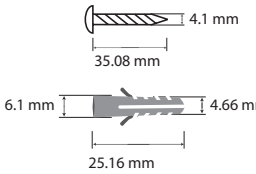
3. 壁ブラケット取り付けガイドを取り外します。

4. ブラケットを壁用のネジ（**A**）で、下の図のように固定します。

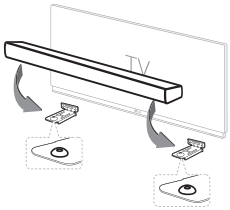


ヒント

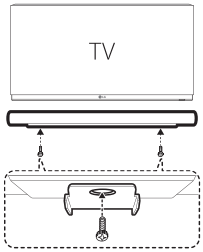
壁用のネジとアンカーボルトは別売です。壁掛けブラケットを取り付けるための市販のネジとアンカーボルトのサイズの目安は、次をご参照ください。壁の材質や強度に応じて、使用するネジの種類および長さが異なる場合もありますので、工事の際には専門の業者にご相談されることをおすすめします。



5. サウンドバーを壁ブラケットの上に乗せ、サウンドバー底面のネジ穴とブラケットのネジ穴を合わせます。



6. 付属のネジでしっかりと固定します。



ヒント

装置の取り外しは、取り付けの手順を逆に行ってください。

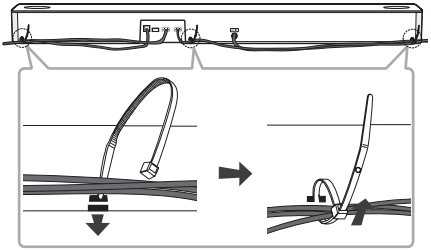
注意

- サウンドバーは逆さまに設置しないでください。落下するおそれがあります。落下によってケガをしたり、製品が破損する可能性があります。
- 取り付けたサウンドバーに圧力をかけたり、衝撃を与えないでください。
- サウンドバーが落下しないようにしっかりと壁に取り付けてください。万が一落下すると、怪我をしたり製品が破損することがあります。
- お子様を近づけないでください。ケーブルを引っ張ることで、サウンドバーが落下するなど、思わぬケガをするおそれがあります。

ケーブルの整理（オプション）

ケーブルタイでケーブルを整理することができます。

1. 以下のようにケーブルタイと一緒にケーブルを持ちます。
2. ケーブルタイを締めます。



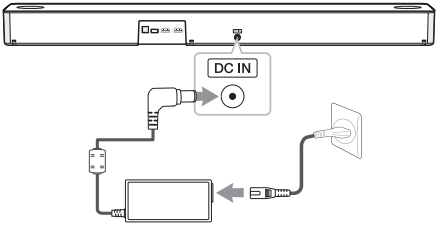
ヒント

- 全ての接続が完了したら、必要に応じてケーブルを整理することができます。
- ケーブルタイは別売りです。

ACアダプタの接続

スピーカーを付属のACアダプタで電源に接続してください。

1. 付属のAC電源コードをACアダプタに接続します。
2. ACアダプタケーブルをDC INアダプタ入力に接続します。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。



注意

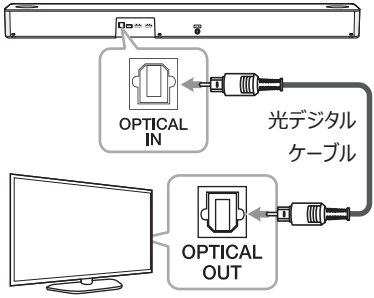
サウンドバーに付属のACアダプタのみを使用してください。他の機器または他社製のACアダプタは使用しないでください。他の電源ケーブルまたはACアダプタを使用すると、装置が故障し、保証が無効になる恐れがあります。

テレビの接続

テレビの状態を考慮して、本機とテレビを光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルで接続します。

オプティカルケーブルの使用

1. 光デジタル(S/PDIF)ケーブルで、本機の背面のOPTICAL IN端子をテレビのOPTICAL OUT(光デジタル出力)端子をに接続します。



2. **F**ボタンを複数回押して、OPT/HDMI ARCへの入力ソースを選択します。

   本機とお使いのテレビが正常に接続されると、表示窓に「OPT」が表示されます。

ヒント

- 接続する光ケーブルに保護カバーがついている場合は、光ケーブルを接続する前に保護カバーを外してください。
- 本機のスピーカーからテレビの音声をお楽しみいただけます。テレビのモデルによっては、テレビのメニューから外部スピーカーを選ぶ必要があるものもあります。（詳細については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。）
- 本機をOPTICALとARCが同時に接続されると、ARC信号が優先されます。

LG Sound Sync

Sound Sync
Wireless

お使いのテレビのリモコンを使ってLG Sound Syncで本機の一部の機能を操作することができます。「LG Sound Sync」に対応するLGテレビに適合しています。お使いのテレビの「LG Sound Sync」ロゴをご確認ください。

LGテレビのリモコンで操作できる機能：音量の上げ下げ、ミュート

LG Sound Sync 機能についての詳細は、テレビの取扱説明書を参照してください。

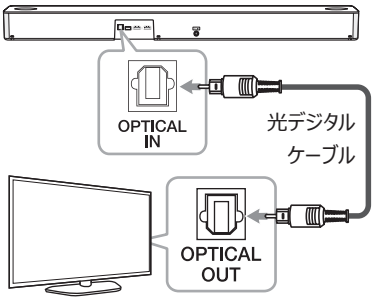
お使いの機器の性能に従って、次の接続のいずれかを行ってください。

ヒント

- LG Sound Syncの使用中には、本機のリモコンもお使いいただけます。テレビのリモコンを再度使用すると、本機はテレビと同期します。テレビの仕様によって、本機の音量はテレビと同期します。
- 接続に失敗した場合は、テレビや電源の状態を確認してください。
- LG Sound Syncの使用中に、以下のような場合には、本機の状態や接続状態を確認してください。
  - 本機がオフになる。
  - 別の入力ソースに変更する。
  - 光ケーブルが切断される。
  - 干渉や距離によりワイヤレス接続が切断される。
- オートパワー機能をオンに設定した場合、本機の電源が切れるまでの時間は、お使いのテレビによって変わります。

有線接続によるLG Sound Sync

1. 光デジタル(S/PDIF)ケーブルでお使いのLGテレビを本機に接続します。



2. 本機を通して音声を視聴するには、テレビの音声出力を次のように設定します：
   LG Sound Sync についての詳細は、テレビの取扱説明書を参照してください。
3. ⏻ボタンを押して本機の電源を入れます。
4. **F**ボタンを複数回押して、OPT/HDMI ARCへの入力ソースを選択します。
   本機とお使いのテレビが正常に接続されると、表示ウィンドウに「LG OPT」が表示されます。

ワイヤレス接続によるLG Sound Sync

1. ⏻ボタンを押して本機の電源を入れます。
2. **F**ボタンを複数回押して、LGテレビの入力ソースを選択します。
3. 本機を通して音声を視聴するには、テレビの音声出力を次のように設定します：
   本機とお手持ちのテレビが正しく接続されると、表示ウィンドウに「PAIRED」とおよそ3秒間表示された後「LG テレビ」と表示されます。
   LG Sound Sync についての詳細は、テレビの取扱説明書を参照してください。

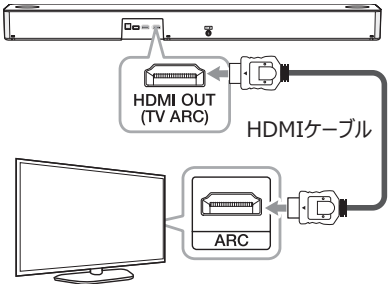
ヒント

⏻（電源）ボタンを押して直接本機の電源を切った場合、LG Sound Sync（ワイヤレス）は切断されます。

HDMIケーブルの使用

HDMIケーブルによって接続された機器同士を操作可能にしたりARC（オーディオリターンチャンネル）対応のテレビに本機を接続した場合、光デジタルケーブルへ接続せず、HDMIケーブル1本でテレビ音声を本機のスピーカーからお楽しみいただけます。

1. HDMIケーブルを使って本機背面のHDMI OUT（TV ARC）端子とテレビのARC端子を接続します。



2. **F**ボタンを複数回押して、OPT/HDMI ARCへの入力ソースを選択します。

   本機とお使いのテレビが正常に接続されると、表示ウィンドウに「ARC」が表示されます。

ヒント

- 本機のスピーカーからテレビの音声をお楽しみいただけます。テレビのモデルによっては、テレビのメニューから外部スピーカーのオプションを選ぶ必要があるものもあります。（詳細については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。）
- お使いのLGテレビのモデルによっては、お使いのLGテレビでSIMPLINK機能をオンにする必要がある場合があります。
- 別の機能からARC機能に戻るときは、入力ソースをOPT/HDMI ARCに設定する必要があります。その後、本機が自動的にARC（オーディオリターンチャンネル）に変わります。

ARC（オーディオリターンチャンネル）機能

ARC機能によって HDMI対応テレビの音声を本機のHDMI OUTに伝送することができます。

ARC機能を使用するには：

- お使いのテレビがHDMI-CECおよびARC機能に対応しており、HDMI-CECとARCがオンに設定されている必要があります。
- HDMI-CECおよびARCの設置方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- HDMIケーブル（タイプA、イーサネット対応高速HDMI™ ケーブル）を使用する必要があります。
- HDMIケーブルを使って、ARC機能に対応しているテレビのHDMI INを本機のHDMI OUTに接続する必要があります。
- ARCと互換性のあるテレビに対し、サウンドバーを1つだけ接続することができます。

SIMPLINKとは

本機とSIMPLINK対応のLGテレビがHDMI接続で接続されている場合、本機の機能の一部をテレビのリモコンで制御することができます。

LGテレビのリモコンによって制御可能な機能 ： 電源のオン/オフ、音量の調整など

SIMPLINK機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。

SIMPLINK対応LGテレビには上図のようなロゴが付いています。

ヒント

- 本機の状態によっては、SIMPLINKの操作がユーザーの意図と異なったり、うまくいかないこともあります。
- 本機に接続されているテレビやプレーヤーによっては、SIMPLINKの操作がユーザーの意図と異なる場合があります。

HDMIに関する追加情報

- HDMIまたはDVIで接続する際は、以下のことを確認してください。
  - サウンドバーとHDMI/DVIデバイスの電源をオフにします。次に、HDMI/DVIデバイスの電源をオンにして、30秒ほど待ってからサウンドバーの電源を入れます。
  - 接続した機器の映像入力が本機に正しく設定されます。
  - 接続されている機器は、720 x 576p（または480p）、1280 x 720p、1920 x 1080i、1920 x 1080p、4096 x 2160p、または3840 x 2160pの映像入力と互換性があります。
- HDCP互換性のHDMIまたはDVIデバイスのすべてがサウンドバーに対応しているわけではありません。
  - HDCPに対応していないデバイスでは、映像が正しく表示されない場合があります。

ヒント

- 接続したHDMI機器が本機のオーディオ出力を受信しない場合、HDMI機器の音声が歪んだり、表示されないことがあります。
- 接続がすでに確立されている状態で解像度の切り換えを行うと、故障の原因になる場合があります。問題を解決するには、サウンドバーの電源を一旦オフにして、再度電源をオンにし直してお試しください。
- HDCPによるHDMI接続に対応していない場合は、テレビ画面は黒画面に変わります。この場合は、HDMI接続を確認するか、HDMIケーブルをはずしてください。
- 画面にノイズや線が表示される場合は、HDMIケーブルを確認してください（規格上4.5m以内です）。
- HDMIモードでは、映像の解像度を変更することは出来ません。接続しているコンポーネントの映像の解像度を変更します。
- お使いのパソコンがHDMI IN端子に接続されている時に映像出力信号に異常があった場合は、パソコンの解像度を576p（または480p）、720p、1080i または 1080pに変更してください。

HDMIケーブルのチェックリスト

HDMIケーブルによっては、信号の伝送が不十分で、音声や映像の伝送に問題が生じることがあります。

HDMIケーブルを接続した後も、音が出なかったり、音が途切れたり、サウンドバーから雑音が聞こえたり、あるいはテレビに画像が出なかったり、かつ画像が乱れたりする場合は、HDMIケーブルに問題がある可能性があります。

HDMI Licensing LLCで認証されたHDMIロゴのあるHDMIケーブルをご使用してください。
“イーサネット対応高速HDMIケーブル” あるいは最新バージョンを使用することをお勧めします。



HDMIケーブルを使用した接続*

HDMIケーブルを接続で音声システムによるライブ放送チャンネルを視聴するには、お使いのテレビが、最新のHDMI機能（HDMI CEC[1] / ARC（オーディオリターンチャンネル）に対応している必要があります。お使いのテレビがこれらのHDMI機能に対応していない場合は、光デジタル(S/PDIF)ケーブルで音声システムへの接続を行わなければなりません。

1）HDMI CEC（高品位マルチメディアインターフェースの家電制御）

Consumer Electronics Control（CEC）は、HDMIの特徴であり、HDMIで接続されたCEC使用可能な機器のコマンドや制御を一つのリモコンで行えるように設計されています。

* CECによる商品名は、SimpLink(LG)、ブラビアリンク(ソニー)、ビエラリンク(パナソニック)、レグザリンク(東芝)

オプション機器の接続

DOLBY ATMOS®

DOLBY ATMOS®とは？

Dolby Atmosは、室内の隅々まで響き渡るサウンドが周囲の3次元空間で動きまわるため自分がその場の中にいるように感じることができる音響システムです。

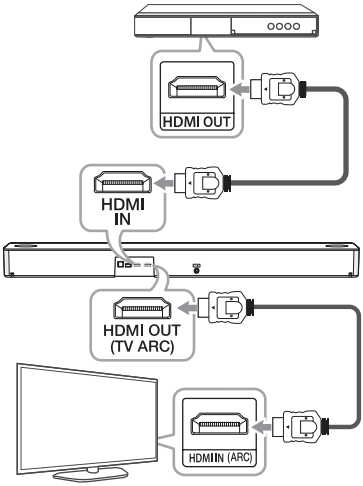
DTS : X®

DTS : X®とは？

現実の世界で音は私たちの周りにあり、あらゆる方向へと自由に移動します。DTS : X®は、聴取者を取り巻くように前後左右に異なる音声を発するスピーカーによって臨場感あふれる体験をできます。

DOLBY ATMOS®と DTS : X®を使用するには

- Dolby Atmos® や DTS:X® を含むコンテンツを楽しむには、接続されているデバイスとコンテンツが Dolby Atmos® や DTS:X® に対応している必要があります。
- DOLBY ATMOS®は、HDMIとHDMI ARCモードでのみ使用できます。
- DTS : X®は、HDMIとHDMI ARCモードでのみ使用できます。
- デバイス（Blu-rayディスクプレーヤー、テレビなど）の音声出力は、「Bitstream」、「Auto」、「Bypass」などの「No encoding」に設定する必要があります。
  - オーディオ出力サンプリングレートを選択できる場合は、192 kHzに設定します。
- テレビがDTS 音源をサポートしていない場合 再生 (ソース) デバイスをサウンドバーの HDMI INまたはOPTICAL INジャックに接続して DTS オーディオを聴きます。



1. 本機背面のHDMI IN端子とBlu-rayディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの外部デバイスのHDMI出力(HDMI OUT)端子を接続します。
2. 本機背面のHDMI OUT(TV ARC)端子とテレビのHDMI IN(ARC)端子を接続します。
3. **F**ボタンを複数回押して、入力ソースをHDMI またはOPT/HDMI ARCに選択します。
   - HDMIを選択すると、外部デバイスからの音を聴くことができます。外部デバイスの再生時に選択します。
   - OPT/HDMI ARCを選択すると、テレビからの音を聴くことができます。テレビを見るときに選択します。

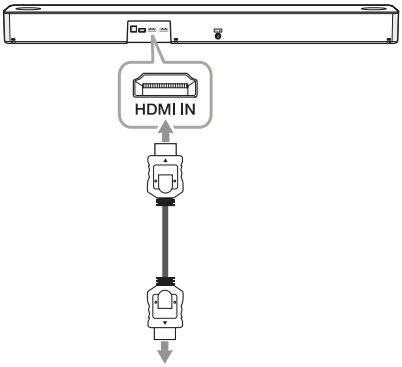
   このサウンドバーとテレビが正常に接続されてコンテンツが再生されると、表示ウィンドウに「DOLBY ATMOS」または「DTS : X」が表示されます。

ヒント

- DOLBY ATMOS®/DTS : X®は5.1.2チャネルをサポートします。
- サウンドバーから音が出ない場合や、テレビの映像がスムーズでない場合は、HDMIケーブルに問題がある可能性があります。HDMIケーブルのチェックリストを参照してください。（25ページ）

HDMI IN接続

サウンドバーのHDMIに接続されている外部デバイスからの音を楽しむことができます。

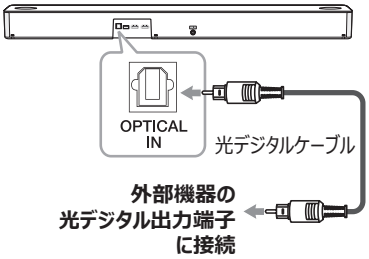


ブルーレイディスクプレーヤー、
DVDプレーヤーなどに接続。

1. サウンドバー背面のHDMI IN端子とBlu-rayディスクプレーヤー、DVDプレーヤーまたはオーディオデバイスのHDMI出力(HDMI OUT)端子を接続します。
2. **F**ボタンを複数回押して、HDMIへの入力ソースを選択します。

OPTICAL IN接続

外部機器の光デジタル出力端子をOPTICAL IN端子に接続します。



1. 本機の背面にあるOPTICAL IN端子をお使いの外部機器の光デジタル出力端子に接続します。
2. **F**ボタンを複数回押して、OPT/HDMI ARCへの入力ソースを選択します。

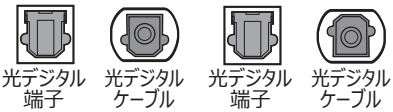
   本機とお使いのテレビが正常に接続されると、表示ウィンドウに「OPT」が表示されます。

ヒント

接続する光ケーブルに保護カバーがついている場合は、光デジタルケーブルを接続する前に保護カバーを外してください。

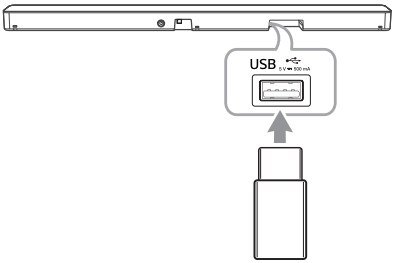
注意

光デジタルケーブルが正しい方向に接続されていない場合は、光デジタル端子が破損することがあります。



USB接続

USB機器を本機の背面にあるUSBポートに接続します。



ヒント

HDMIケーブルが本機に接続されている場合、USBデバイスの形によってはUSBデバイスの挿入が制限されることがあります。

USBデバイスのファイル再生の詳しい情報については、30ページを参照してください。

USBデバイスを本機から取り外す。

1. 別の入力ソースを選択します。
2. 本機からUSB機器を取り外します。

互換性のあるUSBデバイス

- MP3プレーヤー：フラッシュタイプMP3プレーヤー
- USBフラッシュドライブ：USB2.0に対応する機器
- 本機のUSB機能は全てのUSB機器に対応するわけではありません。

USB機器の要件

- 特殊なプログラムがインストールされているUSBデバイスは認識できない場合があります。
- 動作中のUSBデバイスは取り外さないでください。
- 大容量のUSBデバイスは、読み込みに時間がかかる場合があります。
- データの破損を防ぐために、全てのデータをバックアップしてください。
- 本機のUSBポートはPCに接続できません。本機は記憶装置としては使用できません。
- exFATのファイルシステムは、本機には対応していません。（FAT16またはFAT32でフォーマットされたUSBデバイスを使用してください。）
- 下記のUSB接続デバイスは正常に認識されない場合があります。
  - 外付けHDD
  - カードリーダー
  - ロックされた機器
  - ハードタイプのUSB機器
  - USBハブ
  - USB延長ケーブル使用時
  - iPhone/iPod/iPad
  - Android モバイルデバイス

再生可能なファイル

サンプリング周波数

MP3： 32～48kHz
WMA： 32～48kHz
OGG： 32～48kHz
FLAC： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz および192 kHz（16ビット / 24ビット）
WAV： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz および192 kHz（16ビット / 24ビット）

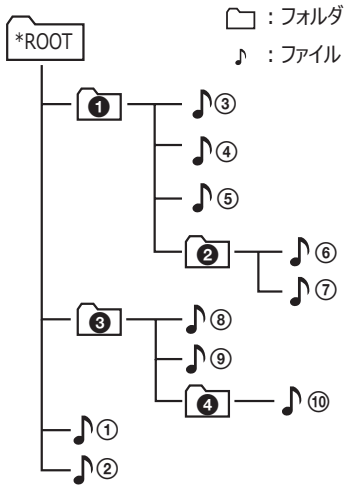
ビットレート解像度

MP3： 80～320 kbps
WMA： 56～128 kbps
OGG： 64～500 kbps

- 最大ファイル数：2000
- 最大ディレクトリ数：200
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたファイルは再生できません。
- USBデバイスに保存されたビデオファイルは再生できません。
- USBデバイスの性能により、正常に再生できない場合があります。

ヒント

- USBにあるフォルダおよびファイルは以下の順に認識されます。



- フォルダの中に音楽ファイルがない場合、フォルダは表示されません。
- ♪①から♪⑩の順に再生されます。
- ファイルは記録された順序で再生されますが、記録状況によって異なる場合があります。
- 本機は、英数字のフォルダ名、ファイル名を表示することができます。
- *ROOT：パソコンがUSBデバイスを認識する時、最初に表示される画面は「ROOT」です。

基本的な操作

USBデバイスの操作

1. USBポートにUSBデバイスを接続します。
2. **F**ボタン複数回押して、USB機能を選択します。

使用したい機能	方法
再生	リモコンの⏯ボタンを押します。
一時停止	再生中に、リモコンの⏯ボタンを押します。
次の/前のファイルにスキップする	再生中にリモコンの⏭を押すと、次のファイルに移動します。 再生後3秒以内にリモコンの⏮を押すと、前のファイルに移動します。 再生後3秒以上経過している時にリモコンの⏮を押すと、現在のファイルの先頭に戻ります。
ファイル内のセクションを検索する	再生中に⏮/⏭を長押しし、聴きたい部分で指を離します。
リピート再生またはランダム再生する	リモコンの**REPEAT**を複数回押してモードを切り替えます。表示変更の詳細については、注記を参照してください。
フォルダを検索する	リモコンの**FOLDER** ∧/∨を押します。
再生を再開する（レジューム機能）	本機は、機能を変更するか、または本機の電源をオフにする直前に再生された曲を記憶します。

ヒント

- レジューム機能は、コンセントを抜いたりUSBデバイスを取り外すと無効になります。
- リピート・ランダム再生の操作は以下のとおりです。

表示	説明
OFF	USB上デバイスの動作順(29ページ)に再生します
ONE	同じ曲をリピート再生します。
FOLDER	フォルダ内の曲をリピート再生します。
ALL	USB機器上の曲をすべてリピート再生します。
SHUFFLE	すべての曲をランダムに1回ずつ再生してから、再生を停止します。

その他の操作

お使いのテレビのリモコンを使う

他社製テレビのリモコンで本機の音量の調整とミュート(消音)の設定ができます。

リモコンの**SOUND EFFECT**を約3秒間長押しします。表示ウィンドウに「ON - TV REMOTE」と表示されれば、お手持ちのテレビのリモコンで本機を操作できます。

この機能の状態を確認するには、リモコンの**SOUND EFFECT**を長押しします。

この機能をオフにする場合は、リモコンの**SOUND EFFECT**を長押しし、表示ウィンドウに表示された「ON – TV REMOTE」がスクロールしている間に再度押します。

ヒント

- お使いのテレビの音声出力が[外部スピーカー]に設定されていることを確認します。
- この機能は、LGテレビのマジックリモコンでは操作できません。
- HDMI、CEC、SIMPLINK、LG Sound Sync などのテレビのコントロール機能の設定がオンになっていると、この機能が正常に作動しない場合があります。
- 本機とテレビが HDMIケーブルで接続されている場合、この機能はうまく動作しない場合があります。
- すべてのテレビのリモコンが使用できることを保証するものではありません。

サウンド出力

音響効果	入力	出力
AI SOUND PRO	2.0 Ch	
	5.1 Ch	
	7.1 Ch 以上	
BASS BLAST または BASS BLAST+	2.0 Ch	
	5.1 Ch	
	7.1 Ch 以上	
STANDARD	2.0 Ch	
	5.1 Ch	
	7.1 Ch 以上	
MOVIE	2.0 Ch	
	5.1 Ch	
	7.1 Ch 以上	
MUSIC	2.0 Ch	
	5.1 Ch	
	7.1 Ch 以上	

オートパワーオン/オフ

本機は、下記の入力ソースで自動的に電源が入ります：オプティカル(光デジタル)、LGテレビ、またはBluetooth。

お使いのテレビまたは本機に接続されている外部デバイスの電源を入れると、本機は入力信号を認識して適切な機能を選択します。お使いのデバイスから音声を聴くことができます。

お使いの**Bluetooth**デバイスを接続しようとすると、本機の電源がオンになり、本機がお使いの**Bluetooth**デバイスに接続されます。

この機能をオンにする場合は、リモコンのⓘボタンを約3秒間長押しし、表示ウィンドウに「OFF – AUTO POWER」がスクロールしている間にもう一度押します。

この機能のステータスを確認するには、リモコンのⓘボタンを押長押しします。

この機能をオフにする場合は、リモコンのⓘボタンを約3秒間長押しし、表示ウィンドウに「ON – AUTO POWER」がスクロールしている間にもう一度押します。

ヒント

- オートパワー機能を使って本機の電源を入れた後、LG Sound Sync（光デジタル/ワイヤレス）で接続されたテレビから一定時間信号の入力がない場合は、本機の電源が自動的にオフになります。
- オートパワー機能を使って本機の電源をオンにした後、外部機器から一定時間信号の入力がない場合、本機の電源が自動的にオフになります。
- 本機を直接オフにした場合、オートパワー機能によって自動的にオンにすることはできません。5秒以上音声信号がない場合、光デジタル(オプティカル)からの信号を受信するとオートパワー機能で本機がオンになります。
- 接続された機器によっては、この機能が正常の動作しない場合があります。
- 本機を用いて**Bluetooth**の接続を切断すると、一部の**Bluetooth**機器は継続して本機に接続しようとします。従って、本機の電源をオフにする前に接続を切断することをお勧めします。
- 本機を初めて起動するときは、オートパワー機能のステータスがオンになります。
- この機能を使用するためには、本機が**Bluetooth**機器のペアリング機器リストに登録する必要があります。
- 本機の電源がオンの時にのみ、オートパワー機能を設定することができます。

入力ソース自動切り替え

本機は Optical、HDMI ARC、Bluetooth、LG テレビ などの入力信号を認識し、自動的に適切な入力ソースに変更します。

光デジタル信号が入力された場合

本機に接続された外部機器を光デジタルケーブルによってオンにすると、本機は機能を光デジタルに変更します。お使いの機器から音声を聞くことができます。

BLUETOOTH機器を接続しようとする場合

お使いのBluetooth機器を本機とペアリングしようとする時は、Bluetooth機能が選択されます。Bluetooth機器に保存された音楽を再生します。

テレビまたは外部機器の電源を入れるとき

光信号、LGサウンド同期（オプティカルまたはワイヤレス）やHDMI ARCで接続されたテレビやデバイスの電源を入れると、本サウンドバーが適切な機能に切り替わり、音声を聴くことができます。

ヒント

- SIMPLINK が接続したテレビ、ブルーレイディスクプレーヤー、セットトップボックスなどのデバイスの電源がオンになっているか、もしくは接続したCEC対応機器の電源がオンになっていると、自動的に光デジタル(オプティカル)には切り替わりません。
  入力ソース自動切り替えを使用したい場合は、お使いのLGテレビのSIMPLINK機能をオフにします。SIMPLINKをオフにするには約30秒かかります。
- **Bluetooth**接続ロック機能が設定されている場合、**Bluetooth**の接続は、**Bluetooth**とLGテレビの機能においてのみ利用可能です。（36ページ）

クイックスタート

本機は低消費電力でスタンバイ状態を維持できるため、本機の電源を入れる時に起動時間が短縮されます。

この機能をオンにするには、本機の電源がオンになっている状態で⏻ボタンを3秒間長押ししてください。

ディスプレイに「ON - Q. START」と表示されます。

この機能をオフにするには、本機の電源がオンになっている状態で、再度⏻ボタンを3秒間長押ししてください。

ディスプレイに「OFF - Q. START」と表示されます。

ヒント

- クイックスタート機能が設定されていて、停電等によりAC電源が誤って本機に再接続された場合は、本機の電源を一度オンにしてからオフにした時にクイックスタート機能が働きます。
- クイックスタート機能を設定すると、クイックスタートがオフのときよりも消費電力が高くなります。
- モデルによっては、この機能が作動しない場合があります。

Bluetooth無線通信技術の使用

Bluetoothについて

Bluetoothは、近距離での接続を目的とした無線通信技術です。

接続が他の電波の干渉を受ける場合、または離れた場所から**Bluetooth**で接続する場合は、正常に動作しないことがあります。

Bluetooth無線通信技術の下でそれぞれのデバイスを接続しても、通信費用は発生しません。**Bluetooth**無線通信技術を通して接続を行った場合、**Bluetooth**に対応のモバイルデバイスは、カスケード接続で操作できます。

- 利用可能なデバイス：スマートフォン、タブレット、MP3プレーヤー、ノートパソコンなど
- バージョン：4.0
- コーデック：SBC、AAC

Bluetoothのプロファイル

Bluetooth無線技術を利用するためには、接続デバイスが正確なプロファイルを認識できる必要があります。このスピーカーは以下のプロファイルと互換性があります。

A2DP（Advanced Audio Distribution プロファイル）

Bluetoothデバイスの音楽の再生

ペアリング(接続)する前に、お使いのモバイルデバイスにある**Bluetooth**機能をオンにしておきます。お使いの**Bluetooth**対応接続デバイスの取扱説明書をご覧ください。一度ペアリング操作を行うと、再度行う必要はありません。

1. **F**ボタンを複数回押して、**「BT」(Bluetooth)**を選択してください。
   表示ウィンドウに「BT」と「READY」が表示されます。
2. **Bluetooth**デバイスで、ペアリング操作を行います。ペアリングする**Bluetooth**デバイスで本スピーカーを検出する際に、 接続デバイスの**Bluetooth**設定画面に、検出されたデバイスの一覧が表示されます。
   お使いのスピーカーは「LG SN7CY（XX）」として表示されます。
3. 「LG SN7CY（XX）」を選択します。

ヒント

- XXは、アドレスの最後の4桁の数字を意味します。例えば、お使いの機器の**Bluetooth**の MAC アドレスが 9C：02：98：4A：F7：**08**である場合、「LG SN7CY（08）」と表示されます。
- **Bluetooth**機器の種類によっては、異なるペアリング方法を持っています。**Bluetooth**ペアリングの詳細については、**Bluetooth**機器の取扱説明書を参照してください。

4. 本機が正常にBluetoothデバイスに接続されると、表示ウィンドウに「PAIRED」→「デバイス名」→[BT]と表示されます。

ヒント

- ユニット上に機器名の表示がされない場合は、「_」が表示されます。
- 接続されている機器名を確認する場合は、リモコンの ⓘ ボタンを押します。接続されている**Bluetooth**機器名が表示されます。

5. 音楽を聴きます。

ペアリングされた**Bluetooth**デバイスの音楽の再生方法は、**Bluetooth**デバイスの取扱説明書を参照してください。

ヒント

- **Bluetooth**接続は、できるだけ近距離で本機と**Bluetooth**機器を接続し、できるだけ離さないようにしてください。
  ただし、以下の条件では正しく作動しないことがあります：
  - 本機と**Bluetooth**機器との間に障害物がある場合.
  - 医療機器、電子レンジ、無線LAN機器などの**Bluetooth**と同じ周波数を使用する機器がある場合.

ヒント

- **Bluetooth**接続がうまくいかない場合は、再度ペアリングを行ってください。
- 接続が他の電子機器の電波に干渉されると、音が遮られることがあります。
- ペアリングは、１つの装置に対して1つの**Bluetooth**デバイスに制限されており、マルチペアリングには対応していません。
- 機器の種類によって、**Bluetooth**機能を使用できないことがあります。
- スマートフォン、MP3、ノートパソコンなどを使って**Bluetooth**機能をお楽しみいただけます。
- 本機と**Bluetooth**機器の間の距離が離れると、音質も低下していきます。
- 本機の電源をオフにする場合、または**Bluetooth**機器が本機から遠く離れる場合は、**Bluetooth**接続が切断されることがあります。
- **Bluetooth**接続が切断された時は、**Bluetooth**機器をもう一度本機に接続し直してください。
- 本機が接続されていない場合、表示ウィンドウに「READY」と表示されます。
- **Bluetooth**機器（iOSデバイスなど）を本機に接続するか、または機器を操作する場合は、互いの音量レベルを同期させることが出来ます。
- **Bluetooth**接続後に別の機能に切り替えると、**Bluetooth**接続が切断されます。**Bluetooth**機能に戻ると、**Bluetooth**接続が自動的に接続されます。

ペアリングされているBluetoothデバイスの操作

ペアリングされているBluetoothデバイスを本機のボタンで操作できます（再生、一時停止、スキップ、ボリューム）。

ヒント

- Android OS及びiOSでのみ、この機能を使用することができます。
- この機能は、すべてのBluetooth対応デバイス、テレビで使用できることを保証するものではありません。

Bluetooth接続ロック（BTロック）

意図していない**Bluetooth**接続を防ぐために、**Bluetooth**接続をBT（**Bluetooth**）とLGテレビ機能のみに制限することができます。

この機能をオンにするには、リモコンの⏯ボタンをBT（**Bluetooth**）機能で約3秒間長押しし、「OFF - BT LOCK」がスクロールされている間に、もう一度押します。その後、**Bluetooth**接続を制限することができます。

この機能をオフにするには、リモコンの⏯ボタンをBT（**Bluetooth**）機能で約 3 秒間長押しし、「ON - BT LOCK」がスクロールされている間に、もう一度押します。

ヒント

BT LOCK機能をオンに設定していても、オートパワー機能によって本サウンドバーがオンになります。これを防ぐためには、オートパワー機能をオフにしてください。（32ページ）

BLUETOOTHアプリの使用

ヒント

- Android OSでしか、本機を使用して「LG Sound Bar」アプリを利用することはできません。
- インターネット環境またはモバイルプランに応じて追加のデータ料金が適用される場合があります。

「LG Sound Bar」アプリについて

「LG Sound Bar」アプリは、本機に新しい機能を提供します。

より多くの機能をお楽しみいただくために、「LG Sound Bar」アプリを無料ダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

BLUETOOTHデバイス上に「LG Sound Bar」アプリをインストールする

「LG Sound Bar」アプリをお使いの**Bluetooth**デバイスにインストールするには、2通りの方法があります。

QRコードを利用して「LG Sound Bar」アプリをインストールする

1. QRコードを利用して「LG Sound Bar」アプリをインストールします。QRコードをスキャンするために、スキャン用ソフトウェアを使用します。
2. アイコンをタップしてインストールを開始します。

ヒント

- お使いの**Bluetooth**機器がインターネットに接続されているか確認してください。
- お使いの**Bluetooth**機器に、スキャン用のソフトウェアアプリーがインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、「Google Android Market（Google Play Store）」からダウンロードしてください。
- 地域によって、QRコードが機能しないことがあります。

「Google Android Market（Google Play Store）」から「LG Sound Bar」アプリをインストールする

1. 「Google Android Market（Google Play Store）」のアイコンをタップします。
2. 検索バーに「LG Sound Bar」と入力し、検索します。
3. 検索結果リストから「LG Sound Bar」を探してタップし、Bluetooth アプリのダウンロードを開始します。

ヒント

- お使いの**Bluetooth**機器がインターネットに接続されているか確認してください。
- お使いの**Bluetooth**機器に「Google Android Market（Google Play Store）」が搭載されているか確認してください。

「LG Sound Bar」を用いてBLUETOOTHを有効にする

「LG Sound Bar」アプリは、お使いの**Bluetooth**機器を本機に接続するのに役に立ちます。

1. ホーム画面上の「LG Sound Bar」アプリのアイコンをタップして「LG Sound Bar」アプリを開き、メインメニューへと移動します。
2. 操作に関する詳細については、[Setting]をタップして[Help]メニューをタップしてください。

ヒント

- 「LG Sound Bar」アプリは以下のソフトウェアバージョンで利用できます；
  - Android O/S：Ver 5.0（またはそれ以降）
- 「LG Sound Bar」アプリを使用して操作している場合は、「LG Sound Bar」アプリと提供されたリモコンとの間でいくつかの違いがあることがあります。付属のリモコンを必要に応じて使用してください。
- **Bluetooth**機器によっては、「LG Sound Bar」アプリが作動しないことがあります。
- 「LG Sound Bar」アプリを接続した後、音楽がお使いの機器から出力されることがあります。この場合は、再度接続の手順を行ってください。
- 「LG Sound Bar」アプリの使用中に、他のアプリの操作やお使いの**Bluetooth**機器の設定変更を行うと、「LG Sound Bar」アプリが正常に作動しないことがあります。
- 「LG Sound Bar」アプリが誤作動する時は、お使いの**Bluetooth**機器および「LG Sound Bar」アプリの接続を確認してから、再度接続してみてください。
- 「LG Sound Bar」の操作方法は、スマートフォンのOSによって異なります。
- **Bluetooth**の接続が切れていても、機能を変更すると、「LG Sound Bar」アプリを使用することができます。
- 「LG Sound Bar」アプリが提供する追加機能は、本機と**Bluetooth**機器と無線状況によっては作動しない場合があります。

故障かなと思ったら

一般

状況	原因と対処方法
本機が正常に動作しない。	• 本機および接続されている外部デバイス（テレビ、ウーファー、DVD/ブルーレイプレーヤー、アンプなど）の電源をオフにしてから、再度オンにします。 • 本機および接続されている外部デバイス（テレビ、ウーファー、DVD/ブルーレイプレーヤー、アンプなど）の電源コードを外してから、再接続してください。 • デバイスの電源をオフにすると、設定した内容が保存されないことがあります。
電源が入らない。	• 電源コードが抜けています。 電源コードを差し込んでください。 • 電気が故障していないかどうか確認してください。 他の電子機器を操作して操作条件を確認してください。
音声が出力されない。	• 不正な入力ソースが選択されています。 デバイスの接続、端子に設定されているか確認し、接続された入力に変更してください。 • ミュート機能が有効になっています。 （Mute）を押すか音量を調節してミュートを解除してください。 • 接続したデバイスの音量が最小になっていないか確認してください。
リモコンの操作がうまくできない。	• リモコンが装置から離れすぎています。 リモコンの有効範囲は7m以内です。リモコン操作が7m以内であること、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。 • 本機とリモコンの間に障害物があります。 障害物を取り除いてください • リモコンの電池が切れています。 新しい電池に交換してください。
オートパワー機能が作動しない。	• テレビ、DVD/ブルーレイプレーヤーや**Bluetooth**デバイスが正しく接続されているか確認してください。 • お使いのLGテレビのSIMPLINKの状態を確認し、SIMPLINKをオフにしてください。 • 接続された機器によっては、この機能が作動しない場合もあります。
LG Sound Syncが作動しない。	• お使いのLGテレビがLG Sound Syncに対応しているかを確認してください。 • LG Sound Sync（光デジタル、またはワイヤレス）の接続状態を確認してください。 • テレビと本機のサウンド設定をご確認ください。
本機が**Bluetooth**デバイスに接続されていない	• **Bluetooth**接続ロック機能をオフにします。（36ページ）

状況	原因と対処方法
本機から出力される音が小さい	以下のを確認し、それに従って本機を調節してください。 • サウンドバーがテレビに接続されている状態で、テレビの光デジタル接続の設定に関するメニューを[PCM]から[AUTO]または[BITSTREAM]に変更します。 • サウンドバーがプレーヤーに接続されている状態で、プレーヤーの光デジタル接続の設定に関するメニューを[PCM]から[PRIMARY PASS-THROUGH]または[BITSTREAM]に変更します。 • 接続された機器のオーディオDRCの設定に関するメニューの設定を[OFF]に変更してください。 • ナイトモードがオンになっていないことを確認してください。ナイトモードを[OFF]にしてください。
USBが認識されません。	• USBデバイスをフォーマットし、再度接続します。 USB デバイスをフォーマットするときは、使用可能なシステムファイルを選択します。（28ページ）

無線を使用しているとき

状況	原因と対処方法
本機が無線干渉を起こす。	• 無線は、信号が弱い場所では正常に作動しないことがあります。 • 最適な性能を得るために、金属製の家具の上に機器を設置しないでください。
右記のような場合、**Bluetooth**デバイスが正常に作動しないか、またはノイズが発生する。	• 体の一部が**Bluetooth**デバイスまたはサウンドバーの受信部に接触している場合。 • 障害物または壁があったり、または機器を隔離された場所に設置する場合。 • 同じ周波数を使用する機器（無線LAN、医療機器または電子レンジ）がある場合は、製品間の距離を互いにできるだけ遠く離してください。 • 機器を**Bluetooth**デバイスに接続する時は、製品間の距離を互いにできるだけ近づけてください。 • 機器が**Bluetooth**デバイスから離れ過ぎている場合、接続が切断され、誤作動が発生することがあります。

デモモードを解除するとき

状況	原因と対処方法
Fボタンを押しても[DEMO]と表示されて入力を変更できない。	電源コードを一旦抜いて、再度差し込んでください。 それでもうまく行かない場合は、音量を2に設定した後、ディスプレイに現在選択されている機能が表示されるまで、本体のFボタンを（約5秒）長押しします。
リモコンが応答しない。	

商標とライセンス

「Dolby Laboratories」のライセンスを基に製造されました。Dolby、Dolby Atmosおよびダブル-Dの記号は Dolby Laboratoriesの商標です。

DTS特許に関しては、http://patents.dts.com をご参照ください。DTS Licensing Limitedからのライセンスを受けて製造されています。DTS、そのシンボル、およびDTSとそのシンボルを含んだもの、DTS:X、そして、DTS:Xロゴは、米国およびその他の国におけるDTS, Inc.の登録商標または商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、**Bluetooth** SIG、Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronicsはこれらのマークをライセンスを受けて使用しています。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

その他の全ての商標はそれぞれの企業の商標です。

仕様

一般	
消費電力	本機のメインラベルを参照してください。
ACアダプタ	• モデル：DA-50F25 • 製造者：Asian Power Devices Inc. • 入力：100 - 240 V ~ 50 - 60 Hz • 出力：25 V ⎓ 2 A
	• モデル：MS-Z2000R250-050D0-P • 製造者：MOSO POWER SUPPLY TECHNOLOGY CO., LTD. • 入力：100 - 240 V ~ 50/60 Hz • 出力：25 V ⎓ 2 A
寸法（幅 x 高さ x 奥行）	約 890.0 mm x 65.0 mm x 119.0（足付き）
質量	3.7 kg
動作温度	5 °C ～ 35 °C（41 °F ～ 95 °F）
動作湿度	5 % ～ 90 %
バスパワー（USB）	5 V ⎓ 500 mA
利用可能なデジタル入力音声サンプリング周波数	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、192 kHz
利用可能なデジタル入力オーディオ形式	Dolby Atmos、Dolby Audio、DTS：X、DTS-HD、PCM

入力 / 出力	
OPTICAL IN	3 V（p-p）、オプション端子x 1
HDMI IN	19 Pin（Aタイプ、HDMI™コネクタ）x 1
HDMI OUT	19 Pin (Aタイプ、HDMI™コネクタ) x 1 HDCP 2.3に依存する4Kソースは、4Kの解像度でサポートされます。

アンプ（RMS出力）	
合計	160 W RMS
前面	30 W RMS x 2（4 Ω、1 kHz、THD 10%）
中央	30 W RMS (4 Ω、1 kHz、THD 10%)
上部	35 W RMS x 2 (4 Ω、1 kHz、THD 10%)

• デザインと仕様は予告なしに変更される場合があります。

スピーカーの取り扱いについて

スピーカーを輸送する時は

梱包箱と梱包材は保管しておいてください。本製品を輸送する必要がある場合、製品の保護のため、出荷時と同じ梱包形態にして輸送することをお勧めします。

外部表面を清潔な状態に保つ

- スピーカーのそばで殺虫剤スプレーなどの揮発性の液体を使用しないでください。
- 強く拭き取ると表面を傷つけることがあります。
- ゴムやプラスチック製品を長時間このスピーカーに触れたままにしないでください。

スピーカーのお手入れ

スピーカーのお手入れには、柔らかい乾いた布をご使用ください。表面がひどく汚れた場合には、柔らかな布を中性洗剤で軽く湿らせてお使いください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの揮発性溶剤は、スピーカの表面を侵食する可能性がありますので、使用しないでください。


LG
Life's Good